

東大が総合部門1位 JCI 関東主催のキング・オブ・コンクリート

日本コンクリート工学会（JCI）関東支部主催の「キング・オブ・コンクリート2022」が、東京工業大学大岡山キャンパス内（東京都目黒区）で20日に行われた。台風の影響を受けて開催規模を縮小し、オンライン形式を一部取り入れて実施。工学系学生らのチームがコンクリートの設計・施工技術を競い合い、総合部門で東京大学が1位に輝いた。

4年ぶり5回目の今大会では、規定条件範囲内の材料を用いて製作したコンクリートの強度特性を評価する「強度部門」、一定の強度を確保した上で二酸化炭素（CO₂）による環境負荷軽減を評価す



試験体の圧縮強度試験



ボーリング形式による球状供試体の転がり性能競技

る「CO₂ 低排出部門」、各自のコンクリート技術をPRする「ポスター展示部門」（投票形式）の総合成績に基づいて「キング・オブ・コンクリート」を決定する。球状供試体の転がり性能などを競う「形状・性能部門」は、競技会場に来られないチームもいるため、代理投球を含むエキシビジョンとして行われた。競技終了後、JCIの西山峰広会長が大会を総括し、「CO₂ 排出などで悪者のような言い方をされることもあるが、若い皆さんがコンクリートをさらに研究し、新しいコンクリートづくりで頑張ってもらえると信じている」と参加者らにエールを送った。

今回のキング・オブ・コンクリートは、九州・博多で来年開催するJCI年次大会と合わせて行われる。

キング・オブ・コンクリート2022の開催結果などについては、東京・東池袋のサンシャインシティで開かれる「建設技術展2022関東」（11月16、17日）で紹介する。各部門上位3校は次の通り。

- 【総合部門】1位 東京大学 / 2位 東京理科大学 / 3位 東北大学
- 【強度部門】1位 東京大学 / 2位 木更津工業高等学校 / 3位 日本工業大学
- 【CO₂ 低排出部門】1位 東北大学 / 2位 東京大学 / 3位 東京理科大学
- 【ポスター展示部門】1位 東北職業能力開発大学校 / 2位 木更津工業高等学校 / 3位 東京理科大学
- 【形状・性能部門（エキシビジョン）】1位 東北大学 / 2位 東北職業能力開発大学校 / 3位 日本工業大学。

